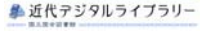



公共図書館のデジタルアーカイブ事業推進のために —国立国会図書館(NDL)の取組み

2010年2月18日
国立国会図書館
関西館電子図書館課
佐藤毅彦

NDLのデジタルアーカイブサービス

- 図書等をデジタル化して提供
 - 近代デジタルライブラリー 
 - 貴重書画像データベース 等
- インターネット上の情報資源を収集、提供
 - インターネット情報選択的蓄積事業(WARP)
- 各種デジタルアーカイブのポータル機能
 - NDLデジタルアーカイブポータル(PORTA) 

第1回 公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議 2

PORTAの概要

- 2007年10月公開
- NDLを含む国内各機関が公開するデジタルアーカイブを統合検索するシステム
 - 2010年2月18日現在、36機関、53アーカイブが検索対象
 - 公共図書館では、都道府県立10館(北海道、宮城、秋田、茨城、石川、三重、奈良、岡山、島根、徳島)、政令指定都市立2館(札幌市、広島市)
- 国のデジタルアーカイブ・ポータルを目指す

第1回 公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議 3

MLA連携の重要性

- PORTAの連携先を増やし、ワンストップでアクセスできるデジタル情報資源を増やす
＝国のデジタルアーカイブを拡充する
- そのために、図書館はもちろんのこと、博物館・美術館や文書館とも連携を拡大する必要がある
＝MLA(Museum, Library, Archives)連携

第1回 公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議 4

デジタル情報資源ラウンドテーブル

- デジタル情報資源に関するMLA連携の促進及び共通する諸課題の解決を目指し、館種を超えた協議及び検討を行うための場
- 2010年3月1日、発足予定
- 2010年3月2日、記念講演会開催予定
「知的資産を繋ぐ—ヨーロッパの実践」
 - デンマーク王立図書館長、欧州デジタル図書館“Europeana”事務局長による講演ほか

第1回 公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議 5

国のデジタルアーカイブの現況調査

- 2009年度、NDLは「文化・学術機関におけるデジタルアーカイブ等の運営状況に関する調査」を実施
 - 公共図書館のほか、大学図書館、専門図書館、博物館、文書館、行政機関等4,325機関を対象に質問紙調査
 - 運営しているか否かを問う一次調査と、具体的な運営状況に関する二次調査の二段階
 - 最終結果は2009年度末。

第1回 公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議 6

一次調査の結果概要

- 回答のあった2,076機関のうち、553機関(26.6%)が「運営している」と回答
- しかし公共図書館に限ると、回答のあった730館のうち、「運営している」と回答したのは78館(10.7%)
 - 都道府県立: 41館中、27館(65.9%)
 - 政令指定都市立: 11館中、6館(54.5%)
 - 中核市立: 26館中、5館(19.2%)
 - その他市区町村立: 652館中、40館(6.1%)

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議

7

一次調査の結果概要(続き)

- 「実施していない」と回答した機関に、その理由を質問(複数回答)
- 公共図書館では、「予算がない」(84.0%)、「人員がない」(74.7%)、「実際のノウハウがない」(70.0%)の順で回答が多かった
 - 全体では「予算がない」(79.7%)、「人員がない」(74.2%)、「実際のノウハウがない」(59.4%) → 「ノウハウがない」と回答した公共図書館が比較的多いのが特徴的

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議

8

公共図書館長からのご要望でも...

- 2009年7月9日の「国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市立図書館長との懇談会」でのご要望
 - 地域資料のデジタル化に関する支援・協力や、情報交換
 - 特に、財政面・技術面で抱える問題に対する支援・協力
- 公共図書館でのデジタルアーカイブ構築には、まだ課題が多い状況

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議

9

公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議

- 全国の公共図書館におけるデジタルアーカイブ事業を推進し、PORTAのコンテンツ拡充を図ることが目的
- 全国の公共図書館がデジタルアーカイブ事業を進めていく上での課題を整理し、それらの課題の解決に向けて、NDL等、国がどのような協力・支援を行えるのかを検討していく
- MLA連携の枠組みの中に位置づける

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議

10

検討すべき課題・支援内容(想定)

- 技術/ノウハウの支援
 - メタデータの標準化
 - 識別子の標準化 (図書館等を識別する国際標準識別子(ISIL)を含む)
 - 資料デジタル化の手引き
 - デジタルアーカイブ用の安価なパッケージシステムの開発、普及
 - これらに関する研修の実施

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議

11

検討すべき課題・支援内容(想定)

- 情報の共有
 - デジタル化した資料の共有 (当館が作成ないし収集したデジタル資料の公共図書館等への配信サービスを含む)
 - 今後デジタル化する資料の情報の公開、共有
 - デジタル化や著作権調査/処理の方法、ベストプラクティス(優良事例)の共有
- 実現可能で有用な支援・協力は?

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議

12

本日の会議の構成

- (趣旨説明)
- 総務省が実施しているデジタルアーカイブ推進の取組みの報告
- 奈良県立図書情報館、上田市立上田図書館、山中湖情報創造館の3館の事例報告
- 今後の取組みについてのディスカッション
 - 皆様と協力して、国のデジタルアーカイブをより充実したものとしていくために...

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議

13

ご清聴ありがとうございました